

恐竜世界から大自然まで! 仮想空間に没入する体感型映像展示

イマーシブ空間映像



多面構成された高精細映像を組み合わせ、来館者に圧倒的なイマーシブ体験を提供します。

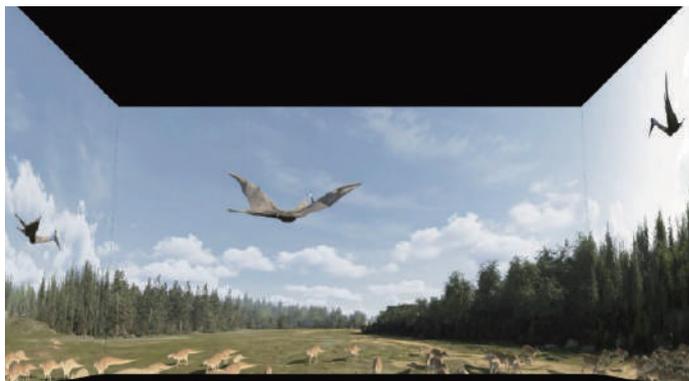
空間に合わせたシステムおよびコンテンツ設計を行い、フルCGにより構築された別世界、絵画などのアート作品を超高精細で撮影した画像や映像、ドローン撮影による浮遊体験、春夏秋冬の自然を時短で体感するなど、様々なテーマで没入感あふれる映像体験をお届けすることが可能です。



InterBEE2023での展示

事例紹介

福井県立恐竜博物館 3面ダイノシアター



©福井県立恐竜博物館

高さ9m×16m×4K 3面のイマーシブ空間

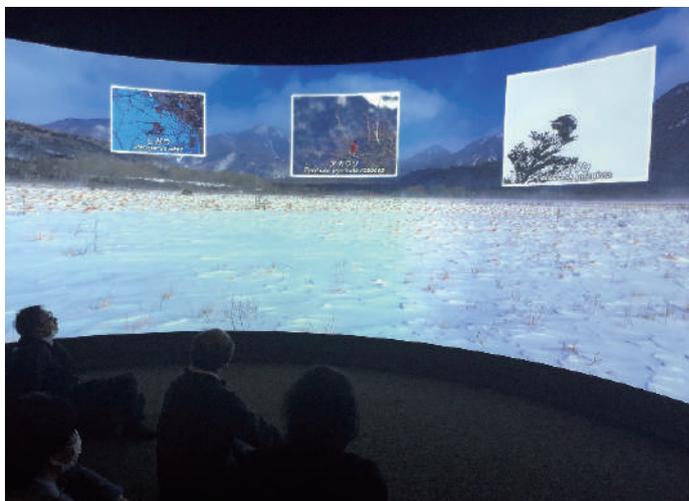
【福井編】

現代の福井駅前から恐竜時代のタイムスリップ。実物大の福井の恐竜たちを心ゆくまで観察できるフルCGコンテンツ

【ララミディア大陸編】

空を舞う翼竜やティラノサウルスとトリケラトプスのバトル、海中を躍動するモササウルスなど、空から陸、陸から海中まで1カットで主観移動していく浮遊感あふれるフルCGコンテンツ

栃木県立日光自然博物館 自然系展示室「奥日光の自然」



©栃木県立日光市自然博物館

文字情報や解説要素を最小限に抑え、奥日光の自然を感覚的に楽しむことができる 展示室内に常設された二つのイマーシブコンテンツ

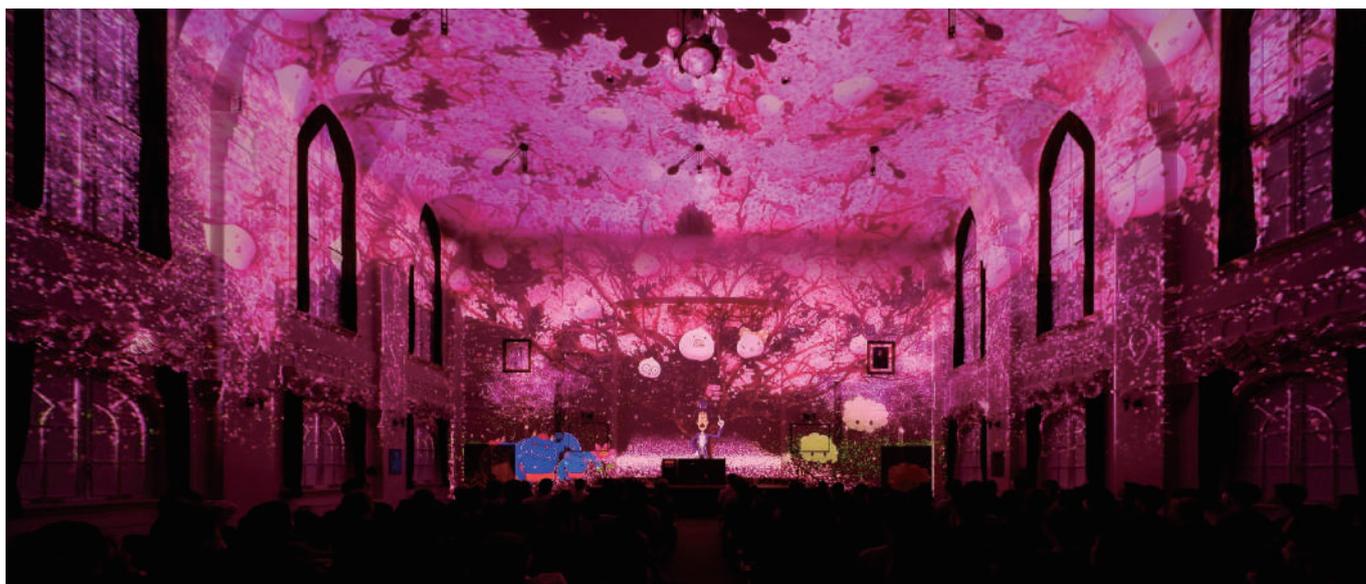
【奥日光水の旅】

戦場ヶ原から湧き出た水は湯川となり、溪流からいくつもの滝を経て中禅寺湖に至り、華厳の滝を流れ落ちる。壁床に投影された実写映像に包まれながら「奥日光水の旅」を体感できる浮遊感あふれるコンテンツ

【湿原に暮らす生きものたち】

8K解像度のワイド画面を主観移動で進みながら、春夏秋冬奥日光の湿原で繰り広げられる動植物の営みを一連の流れの中で再現する。希少な植物や肉眼ではなかなか見ることができない鳥類などを観察できるアクティビティ系のイマーシブコンテンツ

成蹊学園オリジナル3Dプロジェクションマッピング「春二先生と夢の教室」



©学校法人成蹊学園 photo by塩澤一洋

学園創立者の理念をミュージカル仕立てで伝える、10年の時を経て再上映されたプロジェクションマッピング

「春二先生と夢の教室」は、成蹊学園の創立者 中村春二先生が甦り、『本当に大切なもの』を教えてくれるオリジナルストーリー。春二先生が残した教えを、書き下ろしの物語と楽曲によってミュージカル仕立てで映像化。100年の歴史を誇る本館大講堂を舞台に上映した。

2015年に制作上映され、2024年春二先生没後100年を記念して、4Kプロジェクター5台を駆使して再び上映が行われた。約10年を経て上映されても色褪せない、普遍的な没入型物語体験を作り上げた。

▼成蹊学園オリジナル3Dプロジェクションマッピング 特設サイト

特設サイト <https://www.seikei.ac.jp/gakuen/ss/100th-1/>